

I 高等専門学校の現況及び特徴

1 現況

(1) 高等専門学校名

函館工業高等専門学校

(2) 所在地

北海道函館市

(3) 学科等の構成

学 科：機械工学科，電気電子工学科，
情報工学科，物質工学科，
環境都市工学科

専攻科：生産システム工学専攻，
環境システム工学専攻

(4) 学生数及び教員数

(平成19年5月1日現在)

学生数：学 科 1,045人

専攻科 69人

専任教員数：79人

助手数：1人

2 特徴

・沿革

函館工業高等専門学校（以下「本校」という。）は、昭和 37 年 4 月に高専制度が発足した時の第 1 期校として「汝が夢を持って 大志を抱け 力強かれ」を校訓として創設された。当初は、機械工学科（定員 40 名），電気工学科（定員 40 名），土木工学科（定員 40 名）の 3 学科であったが、昭和 41 年 4 月に工業化学科（定員 40 名）が新たに設置されて 4 学科体制となり、さらには、平成 3 年 4 月に情報工学科（定員 40 名）が設置されて現在の 5 学科体制となった。その後、平成 7 年 4 月に土木工学科が環境都市工学科に、平成 8 年 4 月に工業化学科が物質工学科に改組され、さらに平成 12 年 4 月に電気工学科が電気電子工学科に名称変更され、現在に至っている。

一方、地域社会や高度化、複雑化が進む産業界から要求される複眼的視野と創造力豊かなデザイン能力を有し、専門領域だけではなく異分野との境界領域にも柔軟に対応できる技術者の育成に対応すべく、平成 16 年 4 月に専攻科を設置した。専攻科は生産システム工学専攻（定員 12 名）と環境システム工学専攻（定員 8 名）の 2 専攻で構成される。前者は機械工学科，電気電子工学科，情報工学科の 3 学科を基盤とし、後者は物質工学科と環

境都市工学科の 2 学科を基盤としている。

・教育

高専の特長のひとつに早期創造教育が可能な教育機関であることがあげられるため、本校でも積極的に創造性育成のための教育を取り入れている。本科では平成 15 年度より、創造実験などの創成型科目を全学科において低学年から導入している。具体的には、与えられた課題や自ら発想したテーマについて、チームで解決する PBL（Project Based Learning）型の教育が主体である。その教育の成果は、函館地域で行われた地域活性化フォーラムなどで発表した学生が最優秀賞を受賞するなどの実績に結びついている。

専攻科では平成 19 年 3 月に第 2 期生が修了している。専攻科でも複合型の開発能力，問題解決能力，エンジニアリングデザイン能力の育成をめざして PBL 型の創造実験を実施しており，他の専門分野の学生とチームを組んでロボット製作や建材製作などのテーマに取り組ませている。また，設置当初より修了要件として，1 年前期 3～4 週間程度の地元企業におけるインターンシップ，コミュニケーション能力の水准确保のため TOEIC スコア 400 点以上の取得，研究成果の学協会での発表を義務付けている。平成 18 年度には工学（融合複合・新領域）関連分野で JABEE 審査を受審し，プログラム認定された。

一方，卒業生，在校生から要望の多い英語教育の充実を図るため，英語の e-learning システムを導入して授業にも活用しており，学生の自主的な学習を促進している。また，平成 18 年度より在校中に 1 度，無料で TOEIC を受験できる支援制度を設けている。一方，専攻科生の英語能力の水准确保の一環として，平成 17 年度より毎年 2 名の学生を米国の大学にて口頭発表させて，評価していただく機会を設けている。

・地域との連携

地域社会との連携活動については，平成 13 年に技術相談室，平成 15 年に地域連携推進室を設置して積極的に活動してきていたが，平成 16 年度には地域共同テクノセンターを設置して，さらに地域産業界や大学との連携を深めた活動を展開するとともに，公開講座の開催，地域の活性化活動への参加等も積極的に行っている。一方，地元企業等の若手技術者を対象としたリフレッシュ教育も積極的に実施している。

